2027年3月期
中間期 決算概要

（2026年4月1日～2026年9月30日）

株式会社 精工技研

2026年11月17日

Ⅰ．2027年3月期 中間期決算概要

Ⅱ．2027年3月期 連結業績計画

Ⅰ．2027年3月期 中間期決算概要

Ⅱ．2027年3月期 連結業績計画

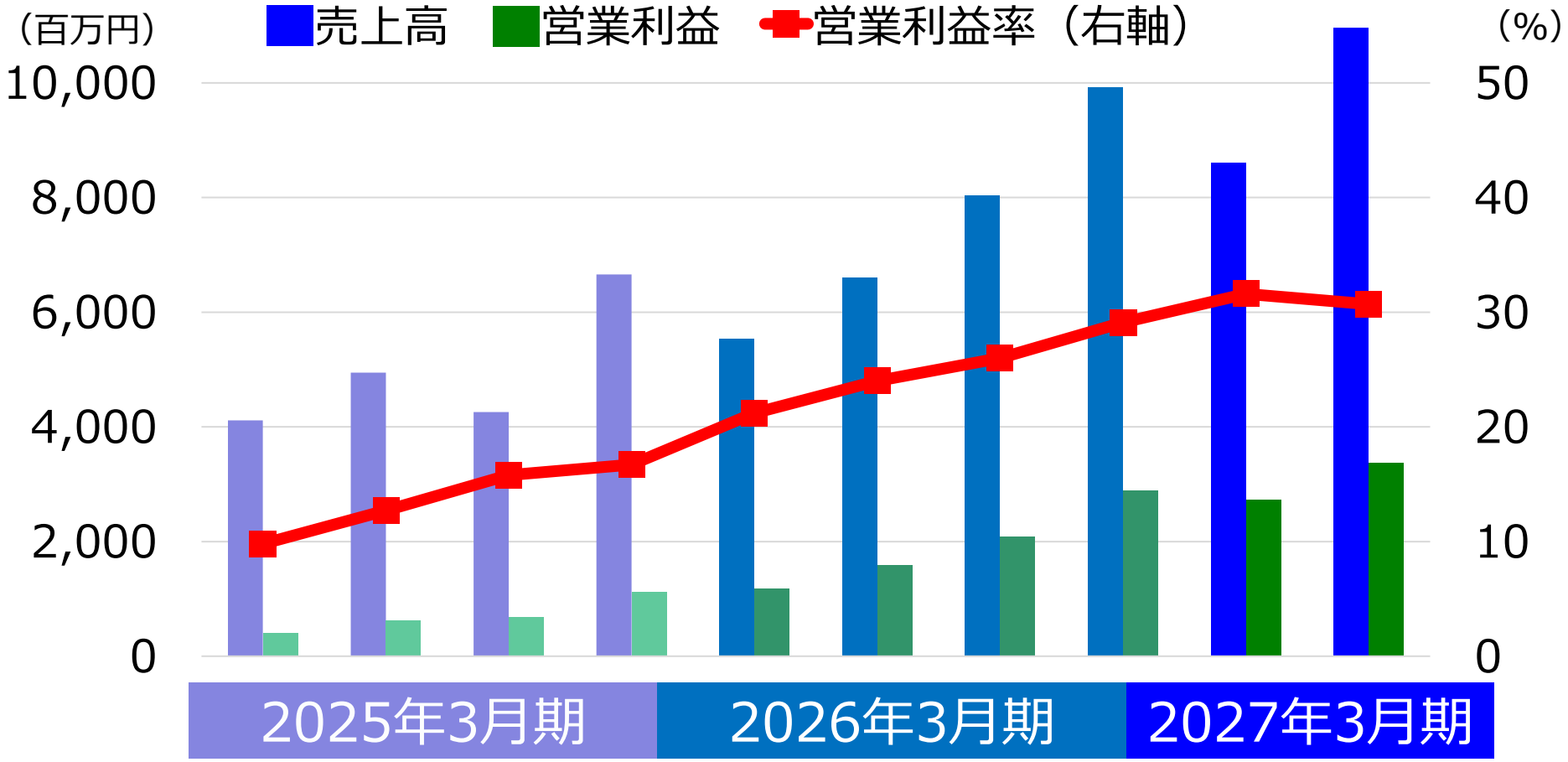
2027年3月期　中間期連結決算ハイライト①

（百万円）	2027年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	対前期 増減率	業績計画値 （2026/8/10）
売上高	19,572	12,133	+61.3%	19,600
営業利益	6,090	2,756	+120.9%	5,500
経常利益	6,094	2,854	+113.5%	5,550
中間純利益	4,481	2,229	+101.0%	4,200

- 売上高と各段階利益は、中間期として過去最高を更新
- 両セグメントで増収増益　特に好調な光製品部門が業績を牽引

2027年3月期　中間期連結決算ハイライト②

■ 連結損益 四半期推移



■ 2Qは、業績連動インセンティブ賞与の引き当てにより、営業利益率が低下

2027年3月期　中間期連結決算ハイライト③

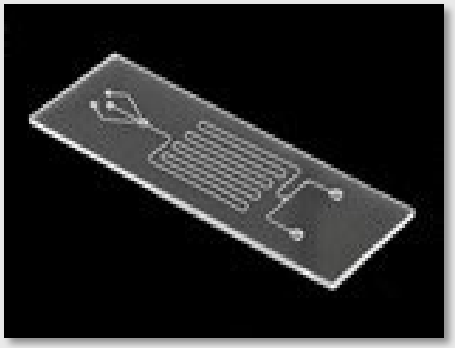
（百万円）	2027年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	対前期 増減率
受注高	27,648	15,231	+81.5%
精機部門	5,531	4,838	+14.3%
光製品部門	22,117	10,392	+112.8%
受注残高	17,689	7,483	+136.4%
精機部門	1,539	1,318	+16.7%
光製品部門	16,149	6,164	+162.0%
設備投資	873	407	+114.2%
減価償却費	545	420	+29.8%
研究開発費	392	291	+34.8%

精機部門／主要製品・主要技術

◆ 成形品

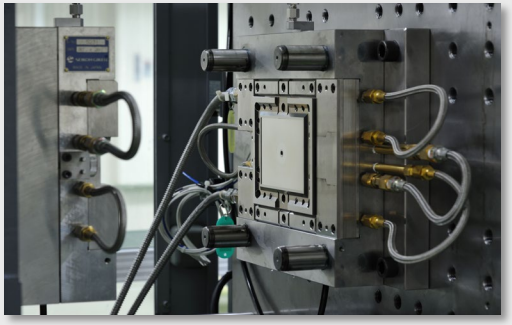
車載用インサート成形品
樹脂射出成形品
二色成形品
金属プレス成形品　等





◆ 金型

各種精密金型

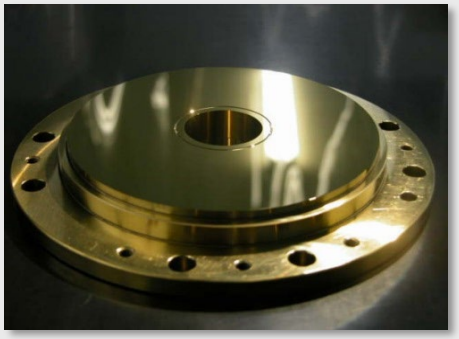




◆ その他

精密金属加工部品　等



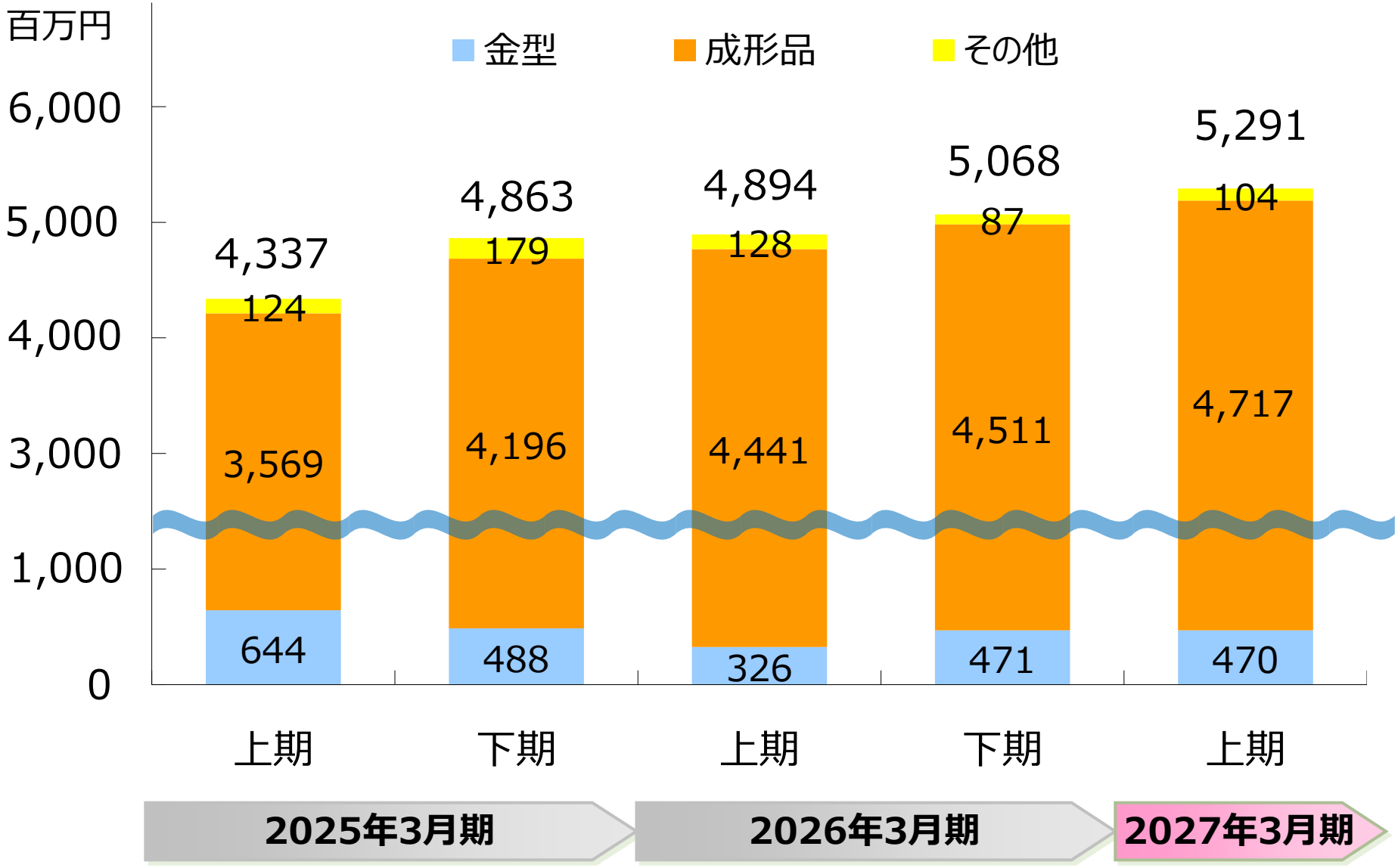


精機部門／セグメント業績

（百万円）	2027年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	対前期増減率
売上高	5,291	4,894	+8.1%
営業費用	4,635	4,362	+6.3%
営業利益	656	531	+23.4%
営業利益率	12.4%	10.9%	—

- 車載成形品、金型の売上が伸長　売上高は中間期として過去最高に
- 売上増加により収益性が改善　光製品部門への費用シフトも増益寄与

精機部門／製品別売上高

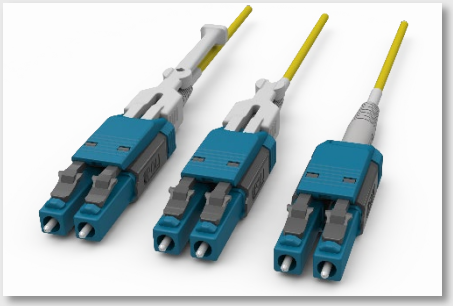

百万円
金型
成形品
その他
6,000
5,000
4,000
3,000
1,000
0
4,337
124
3,569
644
4,863
179
4,196
488
4,894
128
4,441
326
5,068
87
4,511
471
5,291
104
4,717
470
上期
下期
上期
下期
上期
2025年3月期
2026年3月期
2027年3月期

光製品部門／主要製品・主要技術

◆ 光通信用部品

光コネクタ

フェルール　等





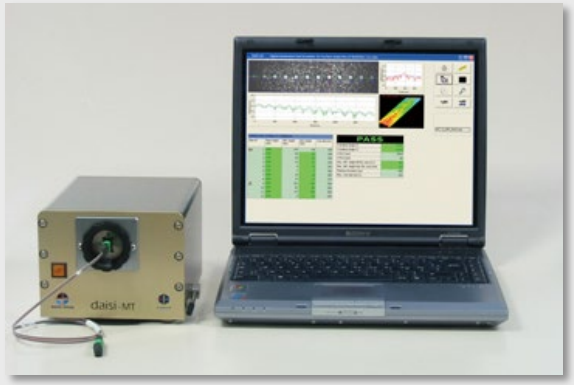
◆ 製造機器・装置

光コネクタ研磨機

光コネクタ端面検査装置

光電界センサー　等

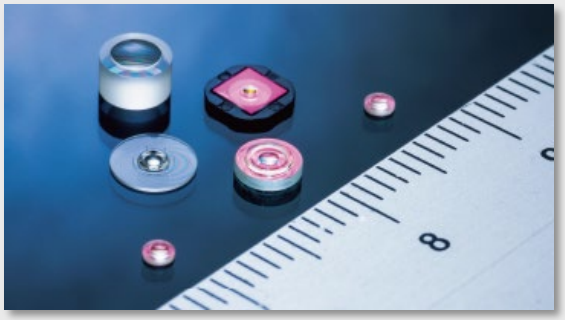




◆ その他

超小型レンズ　等



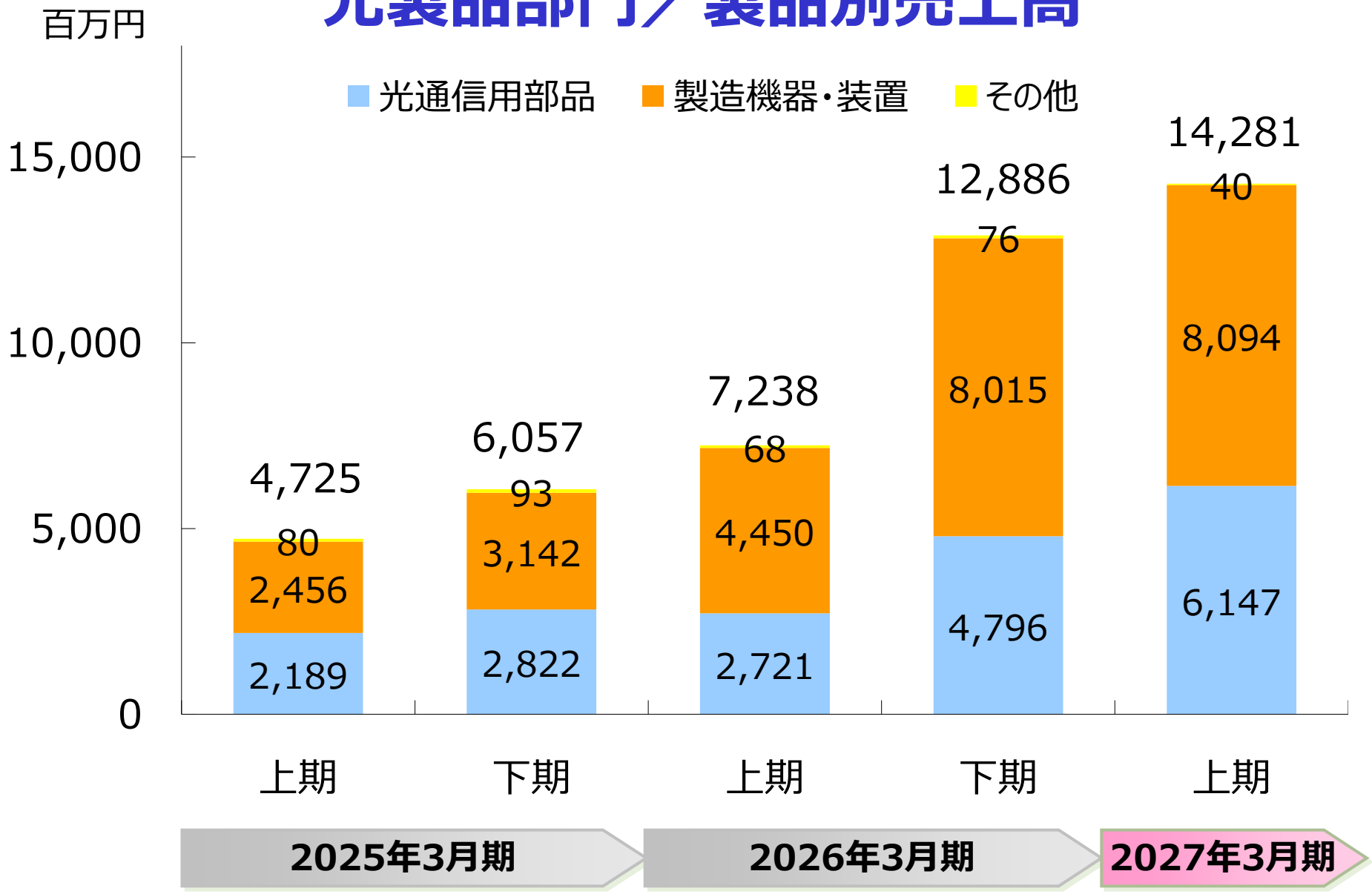


光製品部門／セグメント業績

（百万円）	2027年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	対前期増減率
売上高	14,281	7,238	+97.3%
営業費用	8,847	5,013	+76.5%
営業利益	5,434	2,224	+144.3%
営業利益率	38.1%	30.7%	—

- 光通信用部品、機器・装置共に伸長し売上高は中間期として過去最高に
- 光コネクタ研磨機、測定装置の生産能力増強が進み、収益率が改善

光製品部門／製品別売上高



連結貸借対照表

（百万円）

＜資産の部＞	2027年3月期 中間期	2026年3月期	増減額
流動資産	35,637	30,863	+4,773
固定資産	11,251	10,828	+423
資産合計	46,889	41,692	+5,196
＜負債及び純資産の部＞			
流動負債	7,176	6,257	+919
固定負債	1,484	1,393	+91
純資産	38,227	34,041	+4,185
負債純資産合計	46,889	41,692	+5,196

連結キャッシュ・フロー計算書

（百万円）	2027年3月期 中間期	2026年3月期 中間期
営業キャッシュ・フロー	4,055	1,141
投資キャッシュ・フロー	△720	△210
財務キャッシュ・フロー	△622	△307
現金増減額	2,750	456
期首残高	11,255	7,320
期末残高	14,005	7,776

2027年3月期　基本戦略

経済価値の最大化　～事業の成長～

顧客接点の活性化
- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

新製品・新技術開発の加速
- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

ものづくり力の強化
- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

社会価値の最適化　～サステナビリティ～

経営基盤の強化
- 多様な人材が活き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

2027年3月期　上期事業施策

顧客接点の活性化

ものづくり力の強化

光コネクタ研磨機・DC用光コネクタ 生産数量拡大



光コネクタ研磨機　SFP-560A



データセンター用光コネクタ Intelli-Cross PRO

本社では、調達改善により、研磨機の生産台数を前期末比1.5倍に拡大

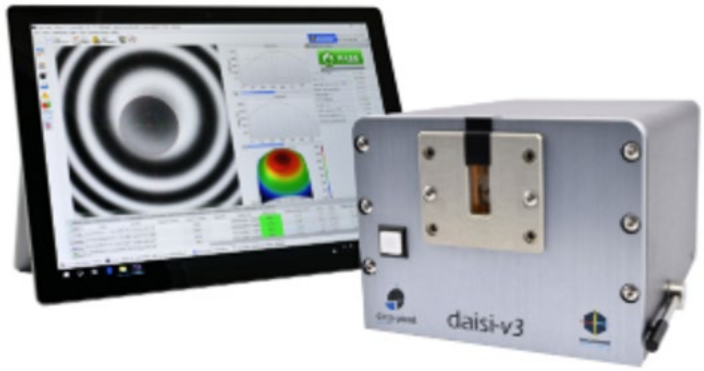
Intelli-Cross PROは北米DC向けに、前期末比5倍の生産数量を実現

2027年3月期　上期事業施策

顧客接点の活性化

ものづくり力の強化

端面検査・測定装置 生産能力増強



端面形状測定器　daisi-v3



DATA PIXEL（フランス/アヌシー）

DATA PIXELは工場を拡張　クリーンルームを整備し、生産能力を増強

人員数は前期末から1.5倍に（37名→54名）　下期に向けて増産準備

2027年3月期　上期事業施策

新製品・新技術開発の加速

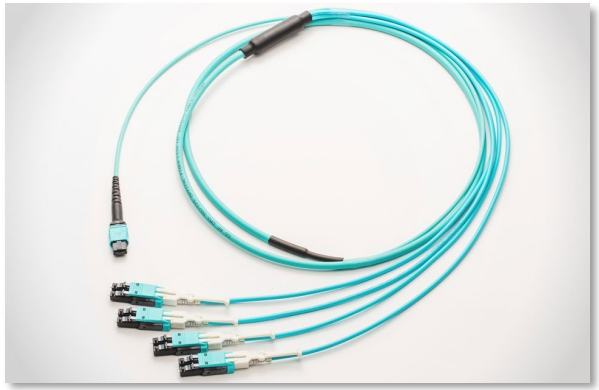
ものづくり力の強化

光トランシーバ、※OCS向け製品　量産開始

※ OCS（Optical Circuit Switch）：光信号を電気信号に変換せず、そのまま光の経路を切り替えるスイッチ



精工訊捷光電ではクリーンルーム内でMTファイバアレイを量産中



MPOコネクタ付ファンアウトコード

光トランシーバ向けMTファイバアレイ、OCS向けファンアウトの量産開始

中国SINY社と合弁会社設立　光トランシーバ用の光アイソレータ生産開始

Ⅰ．2027年3月期 中間期決算概要

Ⅱ．2027年3月期 連結業績計画

2027年3月期　連結業績計画

（百万円）	上期実績	下期修正計画 (2026/11/13)	通期修正計画 (2026/11/13)	前期実績	対前期増減率
売上高	19,572	24,428	44,000	30,087	+46.2%
営業利益	6,090	7,910	14,000	7,733	+81.0%
営業利益率	*31.1%*	*32.4%*	*31.8%*	*25.7%*	*+6.1%*
経常利益	6,094	7,906	14,000	8,139	+72.0%
当期純利益	4,481	5,519	10,000	6,210	+61.0%

- 上期末の受注残、下期の生産能力増を鑑み、業績予想を上方修正
- 管理面ではサイバーセキュリティ対策の強化、人事制度の見直しを実施
- 来期から開始する新たな中期経営計画を策定中（2027年5月公表予定）

部門別下期計画（精機関連）

（百万円）	上期実績	下期修正計画（2026/11/13）	通期修正計画（2026/11/13）	前期実績	対前期増減率
売上高	5,291	5,209	10,500	9,963	＋5.4%
営業利益	656	544	1,200	1,064	＋12.8%
営業利益率	*12.4%*	*10.4%*	*11.4%*	*10.7%*	*＋0.7%*

顧客接点の活性化　**新製品・新技術開発の加速**　**ものづくり力の強化**

- 展示会への出展強化、ホームページの活用による新規顧客の開拓
- ライフサイエンス関連顧客向け マイクロ流路デバイスの量産開発の加速
- 型内塗装システム（金型・塗料注入器等）の販売加速
- 成形工程、検査工程の自動化・効率化による生産性向上
- EV・HEV向けパワーコントロールユニット（PCU）部品の量産準備

部門別下期計画（光製品関連）

（百万円）	上期実績	下期修正計画（2026/11/13）	通期修正計画（2026/11/13）	前期実績	対前期増減率
売上高	14,281	19,219	33,500	20,124	+66.5%
営業利益	5,434	7,366	12,800	6,668	+92.0%
営業利益率	*38.1%*	*38.3%*	*38.2%*	*33.1%*	*+5.1%*

顧客接点の活性化 | **新製品・新技術開発の加速** | **ものづくり力の強化**

- 光コネクタ、研磨機・測定装置の受注は、足元でも強い状況が継続
- 日本本社では、引き続き光コネクタと研磨機の生産能力増強に注力
- DATA PIXELは、増床により端面検査・測定装置の生産能力を増強
- 中国子会社では、光トランシーバ・OCS向け光部品の生産数量増加
- CPO（Co-Packaged Optics）への移行に備え、多心光接続技術の開発加速

株主還元

		27/3月期 見通し（2026/11/13）	26/3月期 実績
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	10,000	6,210
1株当たり配当金	円	中間 15 期末 15 **30**	中間 8 期末 12 20

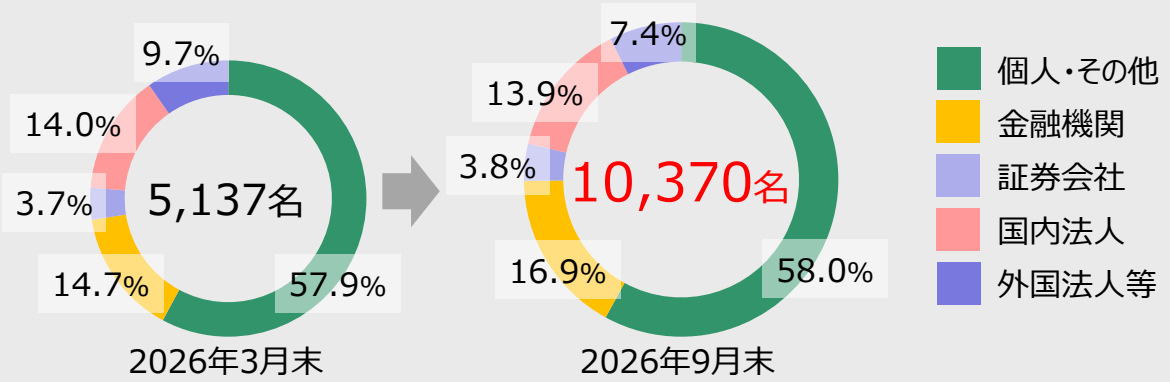


株式関連情報

2026年9月1日付で株式を 1：5 に分割

3月末 ⇒ 9月末
株主数が倍増

所有者別株式分布状況



TOPIX（東証株価指数）構成銘柄に新規採用

2026年10月30日より、TOPIX（東証株価指数）の構成銘柄に新規採用されました。

引き続き、事業競争力と収益力の強化、資本効率の向上に取り組むと共に、コーポレート・ガバナンスの充実、IRの強化に努めてまいります。

ご清聴 ありがとうございました。